

島根原子力発電所の運転状況（平成19年6月分）

中国電力担当分

【1号機】：全期間、原子炉定格熱出力一定運転を行った。

【2号機】：第14回定期検査中（5月8日午後11時発電停止、7月20日午前10時原子炉起動）

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格出力	営業運転開始日	今月の設備利用率(%)	今月の発電電力量(万kWh)	7月20日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	101.9	33,741	運転中 (H19.3.13 ~)	6/1 5/28 C - 復水昇圧ポンプ 1のメカニカルシール 2の機能低下を確認したため、当該メカニカルシールを取替えることとし、B-C号機運転からA-B号機運転に切替え。その後、メカニカルシールの取替えを完了し、6/1 B-C号機運転に復旧。 (中国電力(株)公表済) 1 復水昇圧ポンプ：給水ポンプ入口圧力を確保するため3台設置しており、原子炉が通常運転中は、この内の2台が運転している。 2 メカニカルシール：ポンプ内の水がポンプ主軸に沿って外部に流出しないように封じ込める装置。
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	0.0	0	計画停止中 (H19.5.8 ~) 第14回定期検査中	6/8 5/24、中性子モニター用ドライチューブを原子炉内に取り付ける作業中に、ドライチューブが掴み装置から外れて炉内に落下した。当該ドライチューブを回収するとともに、落下時に接触した制御棒、燃料支持金具が健全であることを確認。原因はドライチューブを掴む際の掴み状態の確認不足によるものと判断。再発防止策として、正常に掴んだ状態が確認できるよう掴み装置にマークを描くとともに、マークにより確認をするよう作業要領書等に明記。なお、制御棒は原子炉の安全性に関して直接影響を与える重要な機器であることから、当該制御棒については念のため取り替えた。 (中国電力(株)公表済) 6/24 6/9から原子炉再循環系ジェットポンプ計測管20本のうち4本に固定金具を設置する作業を行った。その作業中、1箇所の固定金具の締付ボルトが動かなくなる事象が発生した。その後、当該固定金具を切断・撤去し、新たな固定金具を用いて取り付けを完了。 (中国電力(株)公表済) 7/13 定期事業者検査にあたり、非常用炉心冷却系ポンプ6台の運転性能計算に用いる数値の根拠を明確にするため、あらためて確認を行ったところ、ポンプの全揚程（水を汲み上げる力）を計算するために用いるポンプ入口圧力計と出口圧力計の取り付け位置の高低差に誤りがあることが判明。過去の定期事業者検査などの結果について、正しい数値で再計算した結果と比較し、全て判定基準を満足していることを確認。 (中国電力(株)公表済)

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象
該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象
該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

	当月末保管量（前月比増減量）	当月発生量	当月処理量 ²	前月末保管量
ドラム缶保管量（本）	21,412（46）	285	239	21,366
その他の種類の保管量（本相当）	5,201（34）	10	44	5,235
合計	26,613（12） ¹	295	283	26,601

1 保管能力：35,500本 2 処理方法：焼却及びドラム缶減容処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 6月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	308	1,584	1,892
貯蔵全容量	1,140	3,518	4,658
容量管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分¹ + 1取替分²)

1：1号機400体 2号機560体
2：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性気体廃棄物		放射性液体廃棄物	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素 (I-131)	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND ¹ (ND)	ND ² (ND)	ND ³ (ND)	6.4 × 10 ¹⁰ (2.0 × 10 ¹¹)
号機別 内 訳	1号機 ND ¹	2号機 ND ²	ND ³	6.4 × 10 ¹⁰
年間放出管理目標値	8.4 × 10 ¹⁴ ⁴	4.3 × 10 ¹⁰ ⁴	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ⁵
サイトバンカ建物	-	ND ²	-	-

1：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下
2：検出限界値 約7 × 10⁹ Bq/cm³ 以下
3：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下
(⁶⁰Coで代表)

4：年間放出管理目標値は、平成17年4月から見直された。
5：年間放出管理の基準値を示す

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

（単位：cps）

		今月分			先月の実績			安全協定で定める 通報基準値
		最小	平均	最大	最小	平均	最大	
排気筒モニタ	1号機	5.3	6.1	7.1	5.2	6.2	7.2	500 ⁶ (1,000 ⁷)
	2号機	2.8	3.5	4.5	3.0	3.4	4.0	500 ⁶ (1,000 ⁷)
放水路水モニタ	1号機	2.1	2.5	4.6	2.1	2.6	3.9	7 ⁶ (70 ⁷)
	2号機	3.6	4.2	4.9	3.9	4.6	5.4	8 ⁶ (80 ⁷)

6：この状態が10時間続くとき
7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）							環境放射線情報システム（県管理分）										
								西浜左陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	22	25	31	22	29	27	平均値	50	41	40	28	42	35	30	34	36	36	44
最高値	66	63	74	62	78	64	最高値	101	84	80	80	80	77	74	73	82	76	86
月平均の変動幅	19~23	23~27	30~34	21~25	28~31	26~29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	98	100	111

平常の変動範囲を超えた値は、降水の影響と推定される。

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室
電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
中国電力(株)島根原子力発電所 広報課
電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

- (1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・県が実施する調査結果と併せて「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。
- (2) 島根原子力情報伝送システムの伝送計画及び実績・・・環境放射線情報システムやインターネットでリアルタイムで公表している発電所情報の伝送計画及び実績であり、長期欠測等については、その都度事前にインターネット等でお知らせしている。
- (3) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。